

令和6年度におけるスポーツ推進計画の主な取組み状況について

基本目標Ⅰ 誰もが楽しめる生涯スポーツの推進

推進項目

- (1) 誰もが楽しめるスポーツ機会の創出
- (2) 子どものスポーツ活動の推進
- (3) 18歳からのライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- (4) 障がい者のスポーツ活動の推進

1 スポーツ少年団本部活動

- ・子ども達の大会参加の機会を確保するため、各専門部会が主体となって酒田市・遊佐町スポーツ少年団本部大会を開催（※野球、サッカー、卓球、バレーボール、バスケットボール、剣道の6競技の大会。85チーム、862名が参加）。
- ・新たな指導者資格制度「JSPO 公認スタートコーチ（ジュニア・ユース）」の養成講習会が開催され、本市から23名が参加。また、新たな指導者資格制度への移行に伴う指導者および単位団の負担軽減を図るため、資格取得に係る費用に対して補助を令和3年度から開始し、通算で44団に交付済み（令和7年1月末現在。補助は令和6年度で終了）。
- ・団員数増加につなげるため、教育委員会主催のスポーツ能力測定会と同日同会場にて、スポーツ少年団体験会を初開催（※野球、サッカー、バレーボール、卓球の4競技を実施し、延べ412名の子ども達が参加）。



▲バッティング体験を行う様子（野球）



▲的をめがけてボールを蹴る様子（サッカー）

2 鬼ごっこによる体力向上事業

- ・東北公益文科大学の体育系クラブ（女子バレーボール部・男女サッカー部）に所属する学生の協力を得て、市内7つの小学校において体育の授業の一部分で鬼ごっこを実施（令和7年1月末現在6校が終了。2月上旬で7校全て終了予定）。鬼ごっこ以外の時間は、担任の先生の補助（アシスタントティーチャー）として授業に参加。
- ・大学生が準備してきた鬼ごっこ（ケイドロ、バナナ鬼、ねことねずみ、など）の実施のみならず、希望する学校にはスポーツ振興課職員が主体となってスポーツ鬼ごっこを実施。

《令和 6 年度の取組状況》

小学校名	担当部活名	実施回数内訳（回）						実施回数 合計 (回)
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	
浜田小学校	女子バレー部			4	3	3		10
若浜小学校		2	2	2		2	2	10
松原小学校		2	2	2	2	2		10
宮野浦小学校	女子サッカー部	2	2	1	1	1	1	8
平田小学校		1	1					2
黒森小学校	男子サッカー部	3		3		4		10
八幡小学校		2						2

《実施した小学校の先生方の声》

- ・運動が苦手な児童も積極的に活動していた。
- ・大学生と一緒にだと、子ども達がいつもより意欲的で、楽しく体を動かすことができた。
- ・初対面の人とも遊びを通して関わることができ、自分達から関わろうとする変化が見られた。
- ・大学生に、先輩としての自分の体験（足が速くなるコツやサッカー上達のコツなど）を話していただいたことで、子ども達も、自分もできそうだと自信が持てたようだった。

3 スポーツ推進委員会

- ・スポーツ推進委員の資質向上を図るため、下表の各種研修会に参加した。

研修名	期日	開催地	参加人数
県研究大会兼庄内地区研修会	令和 6 年 6 月 22 日	庄内町	36 名
東北研修会	令和 6 年 7 月 12 日・13 日	宮城県石巻市	5 名
全国研究協議会	令和 6 年 11 月 14 日・15 日	宮崎県宮崎市	5 名

- ・モルックの普及に取り組む酒田米菓(株)のモルック部と、市スポーツ推進委員会が共同で、第 3 回酒田市モルック大会を開催（令和 6 年 12 月 8 日開催。33 チーム、129 名参加。推進委員は大会運営・審判として 36 名参加）。老若男女問わず、また、幅広い年代構成の地区・企業等がチームとして参加。
- ・本市でスポーツ実施率が低い「子育て世代（30 代～40 代）の女性」の層へのアプローチとして、酒田駅前交流拠点施設ミライニの指定管理者である（株）図書館流通センターと協力して、ミライニ図書館内や広場でニュースポーツ（ポッチャ、モルック）の体験会を開催（令和 4 年度からの継続事業）。また、10 月にミライニ主催の外遊びイベントでニュースポーツの体験会ブースを設けた際には、多くの親子が参加してくれた（63 名）。

《ミライニニュースポーツ体験会》

○期 間 令和 6 年 6 月～令和 7 年 3 月

○開催回数 月 1 回程度（1 月まで 7 回開催済）※7 月は大雨災害の影響で中止。



▲親子でポッチャを行う様子



▲10月の外遊びイベントの様子

4 ラン&ウォークイベント

- ・「働き世代を対象にしたスポーツ実施率の向上」をねらいとして、スマートフォンのアプリを活用した民間主催の「ラン&ウォーク」イベントに参加。
- ・スマートフォンのアプリを利用した参加無料のオンラインイベントで、5月と10月の1か月間の歩数や走行距離を全国の参加者と競い合う。

【5月「さつきラン&ウォーク（企業対抗）」】

- ・酒田市平均歩数ランキングで各部門第1位となった3企業に、酒田市独自の記念品（記念盾、スポーツ用品）を贈呈。
 《参加人数5名以上の部》 第1位 ㈱ト一屋
 《参加人数11名以上の部》 第1位 東北東ソー化学㈱
 《参加人数21名以上の部》 第1位 酒田天然ガス㈱



【10月「オクトーバー・ラン&ウォーク（個人戦）」】

- ・ウォーキングの部市内個人ランキング上位50位に入った方
 のうち、副賞の受け取りを希望した11名に副賞を贈呈。

※副賞は、市内日帰り温浴施設無料入浴券または
 にぎわい健康プラザ無料利用券。



○イベント参加自治体 全国 248 自治体（総勢 314,384 名）
 山形県内 13 市町村（総勢 4,076 名）

○酒田市参加状況 参加者：144 名（歩行記録ありの方のみ）
 1日あたりの平均歩数：6,078 歩

5 中学校運動部活動の地域移行

- ・運動部活動改革については学校教育課が主管課として動いており、令和6年度はサポーターセミナーとして研修会を2回開催した。
- ・1回目は「成長期におけるスポーツやトレーニングの関わり方」をテーマに、本市出身で

青山学院大学地球社会共生学部准教授の星川精豪氏を講師に招いた講演会（令和 6 年 5 月 24 日）を酒田市総合文化センターのホールで開催し、部活動指導員やクラブ関係者など約 50 名が参加。

- ・2 回目は「木の上に立ってみましょう！—子どもの自立を引き出すコーチング—」をテーマに、元東京ガス野球部監督・元 FC 東京社長で現在、東京ガスケミカル株式会社取締役常務執行役員の阿久根謙司氏を講師に招き、実技指導や講演会（令和 6 年 11 月 9 日）を市光ヶ丘屋内練習場やル・ポットフーにて開催し、保護者や部活動指導員など約 50 名が参加。
- ・休日の部活動の受け皿となるクラブがない中学校区は 4 つ（二中・三中・六中・鳥海八幡中）あるが、令和 7 年 9 月からの活動に向けて、任意団体クラブの設立についての話し合いを進めている。